

研究アイデア概要

まとめ

隅田川にて、海から離れて生息するベンケイガニ類の集団を発見
(普通は海の近くで暮らしている)

→ なんでそんなところで生活してるん?

↑これを解き明かす

↓ベンケイガニ類の生活史の解明は環境保全につながる↓

- ①ベンケイガニ類は河川に直接産卵している
→隅田川のような規模の大きい河川では初の観察例
- ②ベンケイガニ類は、稚ガニになってから長距離を遡上する
→これまでに知られていない知見
- ③ベンケイガニは草食性が強い
→観察例が少ないため、雑誌への投稿を検討

ベンケイガニ類 (*Orisarma intermedium* と *Orisarma dehaani*)

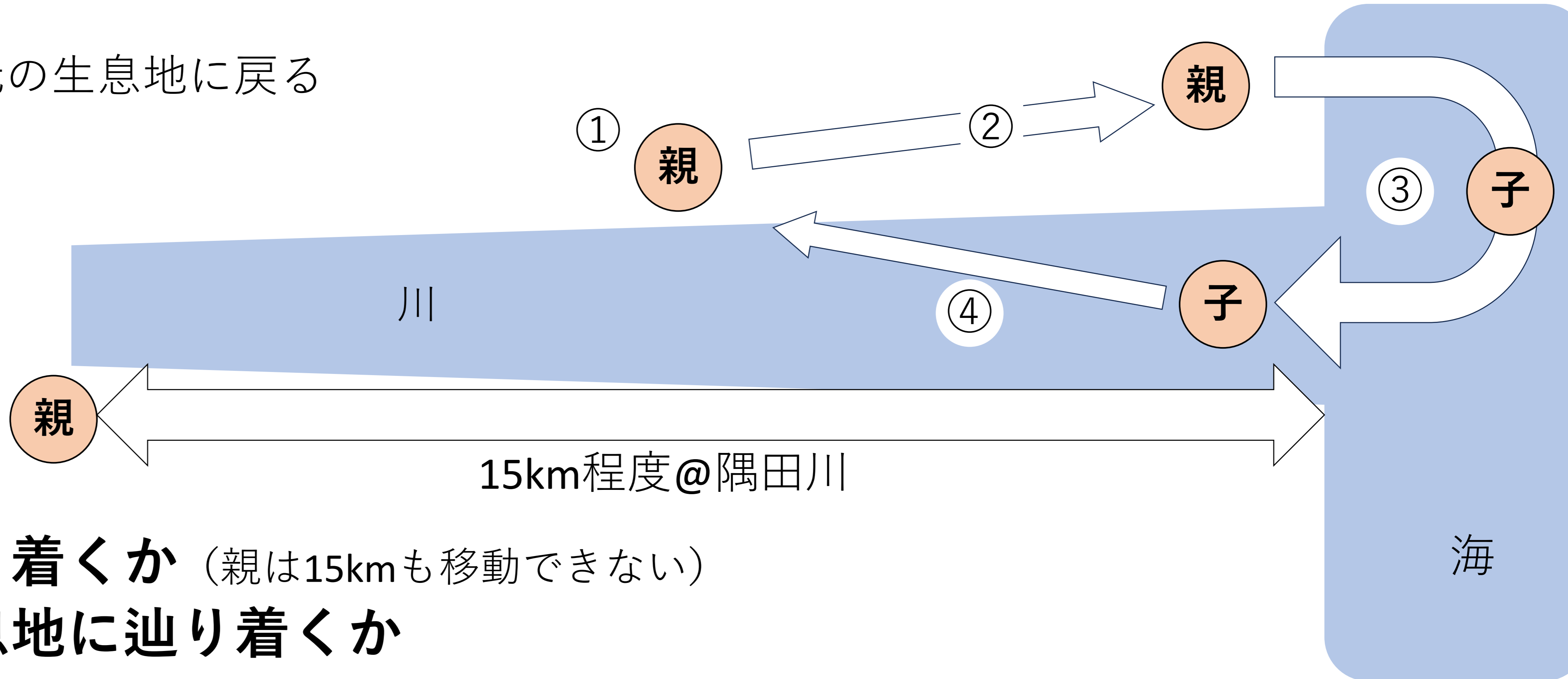
- ① ベンケイガニ類は河川に生息している
- ② 産卵の際、親ガニが海の近くまで移動したのちに、海に子供を放つ
- ③ 子供は海で育つ
- ④ 育った子供は、川を遡上して元の生息地に戻る



隅田川における謎は2点

- I. 子供はどうやって海に辿り着くか (親は15kmも移動できない)
- II. 子供はどうやって元の生息地に辿り着くか

複数の環境を利用するため、
カニが良い河川環境の指標となる



結果

- ①現地観察
カニが河川に産卵している様子を確認できた
親ガニは川の流れを利用し、子供を海へ送る
- ②トラップを用いた子供の採集
背甲上の汚れた稚ガニを1個体採集
→ある程度成長してから
長距離を自力で遡上している



カニの子供
(ゾエア幼生)



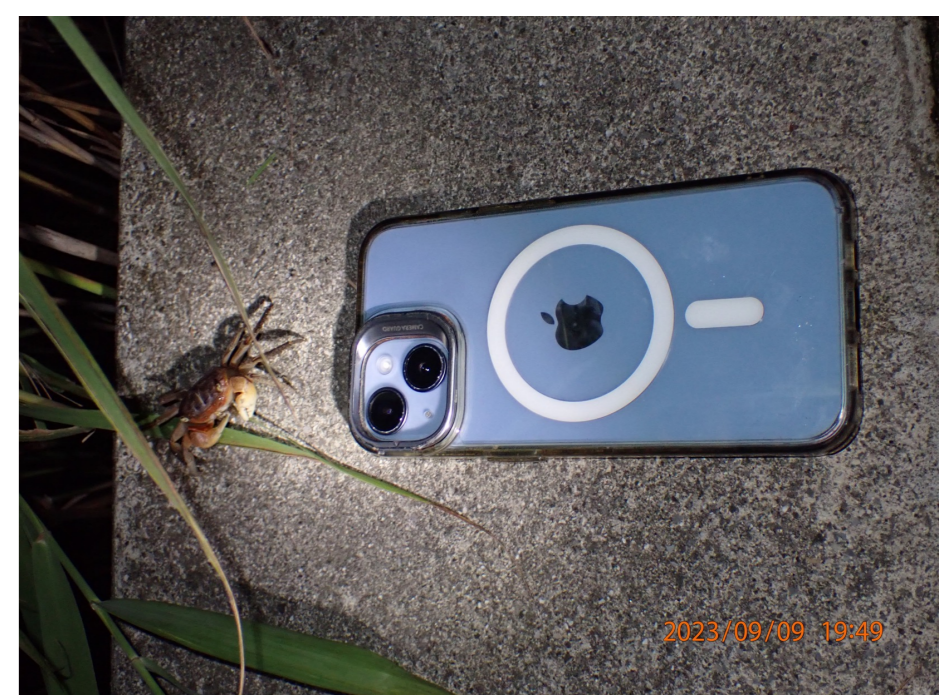
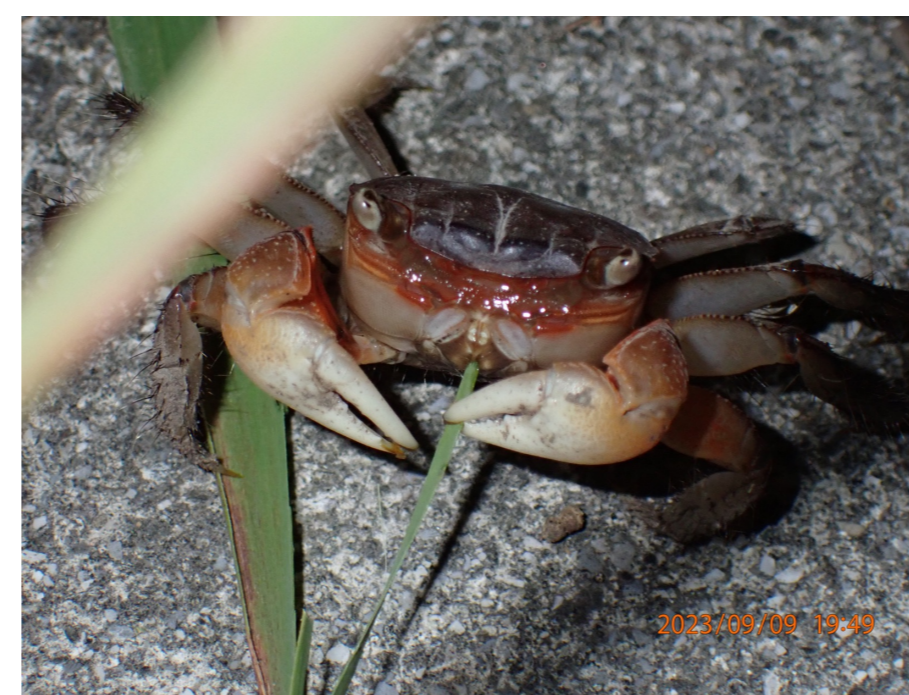
稚ガニ

背甲上が泥などで汚れている



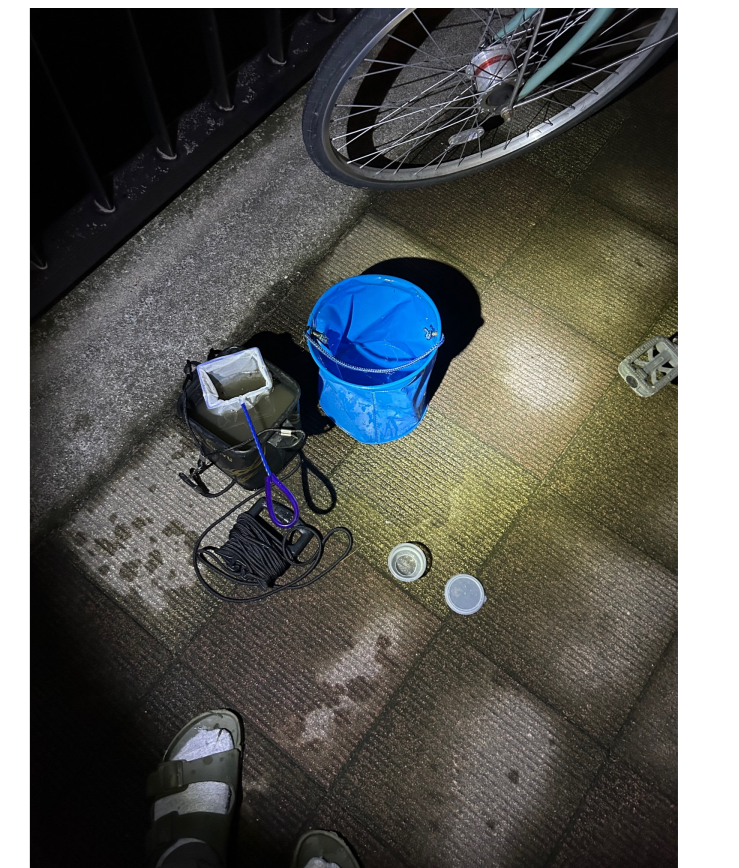
+α わかったこと

ベンケイガニ類は草食性が非常に強く
集魚餌を入れたトラップにはほとんど入らない
ヨシ (*Phragmites australis*) の葉や、藻類を
摂食する姿が確認された



方法

- ①現地観察
8月末~9月にかけて夜間、隅田川にて野外観察を実施 (写真左)
- ②トラップを用いた子供の採集
トラップを河川内に設置し、遡上するカニの子供を採集した
(写真中央: トラップ、右: 夜の採集風景)



展望

今後、継続して調査を行う/DNAを用いて集団構造を調べる → さらに詳細な生活史の解明 / 母川回帰の検証